学校番号	1207

令和　５　年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
公　民	現代社会	２	３	なし

使用教科書	副読本等
実教出版「最新 現代社会」新訂版	なし

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
必要があればその都度連絡		○				○		

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会の基礎的な事項について学習し理解する。
・18歳選挙権や裁判員制度など、社会人として責任ある行動が取れるよう知識と教養を身につける。
・教材プリントを提出し評価点に加える。
・新聞や報道番組なども教材として活用する。
・定期テストにむけた学習をつうじて学習内容を確実なものとする。

２．学習の到達目標

現代社会の成り立ちを理解し、自立した社会人となるために必要な知識を素養を身につける。

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：思考・判断・表現	ｃ：資料活用の技能	ｄ：知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・教材プリント ・発問評価	・授業態度 ・発問評価 ・教材プリント ・定期テスト	・新聞読解 ・レポート ・定期テスト	・新聞読解 ・発問評価 ・定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	第1章 現代の民主政治 第１節現代社会と憲法 ①現代社会とは ②政治と国家 ③日本国憲法の成立 ④憲法9条と自衛隊	・民主政治の思想 ・国家の役割 ・日本国憲法の制定 ・憲法9条の理解 ・自衛隊の成立と今日 ＜5月考査＞	○	○	○	○ ○	a現代社会に関する基本的な事例に関心をもたせる。 ｂ現代社会に関する基本的な事例について考察する。 ｃｄ日本国憲法のなどの法令を見ながら学習する。 ｄ現代社会に関する基本的なないようについて理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・教材プリント ・定期テスト
5月 下旬 ～ 7月	第2節 基本的人権 ①自由に生きる権利 ②平等に生きる権利 ③ゆたかに生きる権利 ④新しい人権	・基本的人権の思想 ・自由権を学ぶ ・平等権を学ぶ ・社会権を学ぶ ・新しい人権を学ぶ ＜7月考査＞	○	○	○	○	a基本的人権について、判例なども参考に、その内容に関心を持たせる。 ｂ基本的人権についての基本的な内容について考察する。 C基本的人権に関する新聞や資料集を活用する。 ｄ基本的人権についての知識と理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・教材プリント ・定期テスト
8月 下旬 ～ 10月 上旬	第3節三権分立と選挙制度 ①国会 ②内閣 ③裁判所 ④裁判員制度 ⑤18歳選挙権	・国会の仕組みと役割 ・内閣の仕組みと役割 ・裁判所の仕組みと役割 ・裁判員制度を学ぶ ・18歳選挙権の意義 ＜10月考査＞	○ ○	○	○	○	a三権分立の原理を理解し、立法・行政・司法の仕組みについて関心を持たせる。 ｂ三権分立の原理を理解し、立法・行政・司法の仕組みと役割について考察する。 ac新聞や資料集を活用し関心を高める。 ｄ三権分立の原理を理解し、立法・行政・司法の仕組みと役割につい理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・教材プリント ・定期テスト
10月 中旬 ～ 12月	第2章 現代の経済社会 ①経済とはなにか ②経済社会の成り立ち ③市場のしくみと企業 ④世界経済と国際社会	・原始から資本主義 ・需要と供給 ・「価格」の役割 ・自由競争と独占 ・先進国と発展途上国 ＜12月考査＞	○	○	○	○	a経済に関する基本的な事象について関心を持たせる。 ｂ経済に関する基本的事象について考察する。 C新聞や資料集を活用し関心を高める。 ｄ経済に関する基本的な知識と理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・教材プリント ・定期テスト
1月 ～ 2月	第3章 豊かな未来社会 ①人類と地球の未来 ②社会における個人の役割	・地球温暖化を学ぶ ・地域紛争について ・「個人」として何が出来るのかを考察 ＜2月考査＞	○	○	○	○	aテロ・地域紛争や地球温暖化など、人類と地球の未来に関心を持たせる。 ｂ新聞などの資料を見て、テロ・地域紛争や地球温暖化などの事象を考察する。 ｃ聞などの資料を見て、テロ・地域紛争や地球温暖化などの理解・関心を深める。 ｄ新聞などの資料を見て、テロ・地域紛争や地球温暖化などの理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・教材プリント ・定期テスト